

# 国立大学図書館協議会の SPARC/JAPAN活動への取組

国立大学図書館協議会  
国際学術コミュニケーション特別委員会  
SPARC/JAPANプロジェクト

千葉大学附属図書館情報管理課長 京藤貫

## 本日の内容

- SPARC/JAPANプロジェクトの設置
- プロジェクトチームの活動状況
- 電子ジャーナルの購読モデル
- 大学図書館は何をすべきか

## SPARC/JAPANプロジェクト の設置

- 国際学術コミュニケーション特別委員会の下に, SPARC/JAPANプロジェクトチームを設置(平成14年度~。当初は, SPARC/ISCAプロジェクトの名称)
- 電子ジャーナル・タスクフォースとの共同, 連携(電子ジャーナル購読モデルの提起)

## プロジェクトチームの活動状況

1. SPARC/JAPAN広報リーフレット(日本版 Create Change)の作成
  - ・欧米及びSPARC/JAPANの背景, 目的, 意義と, これらの活動を支援する国大図協の立場を概説し, 大学研究者と図書館職員の賛同・協力を呼びかけ
2. SPARC/JAPANパートナー誌(21種)の国立大学等の購読状況調査

## 国立大学等でのパートナー誌 購読状況

- 図書館を介した購読状況アンケート調査
- 736部購読  
    図書館経費121部(16%) , 研究費購読  
    601部(82%) (2003年)
- 物理系, 機械系, 情報通信系の購読部数が多い。
- 図書館を介さない購読状況は, 未把握

## 電子ジャーナルの購読モデル

電子ジャーナル・タスクフォースの海外雑誌  
出版社との協議の中で形成

- 1大学1サイト原則
- ILL(文献複写)での利用許可
- 学外来館者への利用許可
- 統計情報の提供・正確化
- 並行アクセス(ミラー等)及びアーカイブ設置

## 大学図書館は何をすべきか(1)

学術雑誌の価格高騰=学術コミュニケーションの危機を訴えよう！

図書館側から研究者に積極的に働きかけ、研究所と共に学内で議論をする機会を設け、学術コミュニケーションの危機についての共通認識を持つことが必要

## 大学図書館は何をすべきか(2)

SPARC/JAPANを全面支援しよう！

- 学内で、SPARC/JAPANの意義と目的を説明し、研究者に働きかけていくことが必要
- SPARC/JAPANパートナー誌への論文投稿の推奨と大学図書館による継続的な電子ジャーナル購読が重要

## 大学図書館は何をすべきか(3)

### 北米・欧州のSPARC誌を紹介しよう！

- 北米・欧州のSPARCに対する協力・支援の促進
- SPARC誌の紹介・購読, 研究者への論文投稿を推奨・呼びかけ